

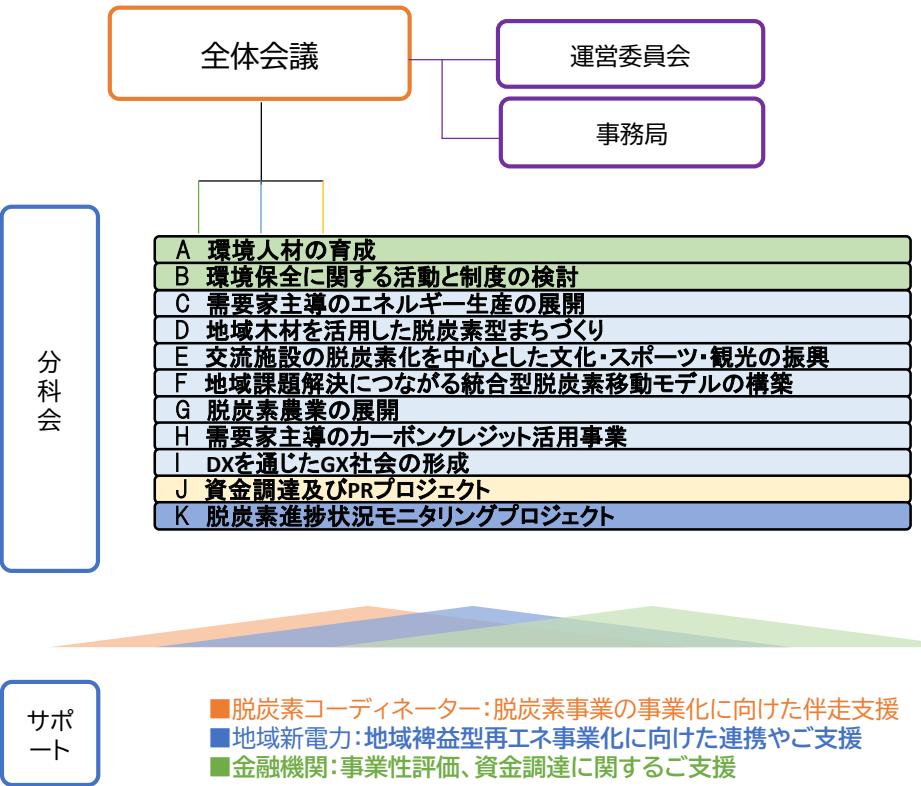
令和7年度福知山市持続可能なエネルギー・環境共創
プラットフォームの各種取組について(進捗状況)
【抜粋版】

プラットフォーム体系図とプロジェクト数(2025.12月時点)



福知山市持続可能なエネルギー・環境共創プラットフォーム

【分野】
 環境保全
 脱炭素推進
 広報
 上記3つの分野に関する



各分科会にて44案件がスタート！特徴的な動きを次のページ以降にまとめています。

『A/B分科会』環境人材の育成

福知山市持続可能なエネルギー・環境共創プラットフォーム

【分野】

環境保全

脱炭素推進

広報

上記3つの
分野に関する

分科会

A 環境人材の育成

B 環境保全に関する活動と制度の検討

- C 需要家主導のエネルギー生産の展開
- D 地域木材を活用した脱炭素型まちづくり
- E 交流施設の脱炭素化を中心とした文化・スポーツ・観光の振興
- F 地域課題解決につながる統合型脱炭素移動モデルの構築
- G 脱炭素農業の展開
- H 需要家主導のカーボンクレジット活用事業
- I DXを通じたGX社会の形成
- J 資金調達及びPRプロジェクト
- K 脱炭素進捗状況モニタリングプロジェクト

○福知山環境会議から引き継いだ活動を中心に、環境保全や環境人材の育成に関する活動が進行中

- ①生ごみの堆肥化によるごみの減量
- ②ゴーヤ配布によるみどりのかーん普及
- ③公立大学生による由良川整備活動
- ④脱炭素を学ぶ!生涯学習連続講座
- ⑤ツバメ調査・ホタル調査による生物多様性保全に関する活動

婦人会主催の「脱炭素を学ぶ！生涯学習連続講座」や竹パウダーを活用した堆肥化講習会の実施、自然科学協力員会様による水生生物調査などを実施しました。



ゴーヤ苗配布@三和分校



生ごみ堆肥づくり講習会(上)
【新】竹パウダーを活用した堆肥化講習会(下)

～京都府地域交番プロジェクト交付金事業～

脱炭素を学ぶ！生涯学習連続講座

無料 先着順

本講座について
福知山市環境委員会では、京都府地域交番プロジェクト交付金を活用して脱炭素を学ぶ生涯学習講座を開催いたします。本事業は、「わたしたちができるべき環境行動」から「私たちがみよし町民がんばる」というテーマとしており、生活の中で出来る脱炭素の取り組みを知り、実践することをおもにとしています。

脱炭素って難しそう。
再エネ？自分には関係ないかも…。

そもそも何に参加してみたいか迷います。
脱炭素って、再エネって、こんなにも迷って悩んでるのなんつーんだ？
（各回お申込みで、お申込みはお早めに！）

【各回お申込みで、お申込みはお早めに！】

第1回	日時 2023年11月10日(土) 午後2時～午後4時	講師 川村光寿氏 (京都府地域交番化促進活動推進センター・事務局長)	場所 津池パーク 2階 研修室 (福知山市宇治215番地)
第2回	日時 2023年11月28日(土) 午後2時～午後4時	講師 木暮浩貴 氏 (ひみんルネッサンス代表取締役、前水戸町環境学習研究会実行委員会会員)	場所 津池パーク 2階 研修室 (福知山市宇治215番地)
第3回	日時 2023年12月14日(日) 午後2時～午後4時	講師 山本貴史 氏 (堺電気軌道株式会社 代表取締役、前水戸町環境学習研究会実行委員会会員)	場所 市民交流プラザ(ちくま 3階 会議室3-205) (福知山市駅前町400)

【新】脱炭素を学ぶ！
生涯学習連続講座



小学校での
水生生物調査



公立大との
ネイチャーアクティビティ

『C分科会』需要家主導のエネルギー生産の展開

福知山市持続可能なエネルギー・環境共創プラットフォーム

【分野】

環境保全

脱炭素推進

広報

上記3つの
分野に関する

分科会

- A 環境人材の育成
- B 環境保全に関する活動と制度の検討
- C 需要家主導のエネルギー生産の展開**
- D 地域木材を活用した脱炭素型まちづくり
- E 交流施設の脱炭素化を中心とした文化・スポーツ・観光の振興
- F 地域課題解決につながる統合型脱炭素移動モデルの構築
- G 脱炭素農業の展開
- H 需要家主導のカーボンクレジット活用事業
- I DXを通じたGX社会の形成
- J 資金調達及びPRプロジェクト
- K 脱炭素進捗状況モニタリングプロジェクト



今安の太陽光パネルの下で栽培された「キクラゲ」はアレルゲンフリーの植物性たまごパウダーの材料となり全国に届けられる予定です。

食の脱炭素化と誰もが食べられる食材づくりの活動に取組みます。



○遊休地、遊休農地を活用した大規模太陽光発電事業3案件が同時に進行中
 ①今安農地でのソーラーシェアリング
 ②稚児野台を活用したメガソーラー(2MW)

■公共主導で施設のZEB化や断熱改修を進めるとともに、再生可能エネルギーの率先導入、また新しい技術の率先導入をしてサステナブルな施設とするとともに固定費の削減を目指します。

稚児野台で設置を検討している太陽光発電

(たんたんエナジー株)

- 脱炭素先行地域にて設置予定
- 規模: 2MW(想定)
- 令和8年度～令和10年度の期間で設置予定

一部の案件では、環境省が募集する
【脱炭素地域づくり事業】に申請中
 ※令和8年冬頃結果公表予定

『C分科会』需要家主導のエネルギー生産の展開

株式会社ヨネダさまがZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)の積極的な普及に取り組まれています。令和7年10月にはZEH普及啓発に関するイベントを分譲地にて開催され、建築途中の住宅内部を見せながら、効果などを参加者に対して説明されました。



ZEHは**断熱性能**が高くエネルギー消費が少ないうえ、太陽光パネルで発電した電気をうまく活用するなど、経済的にメリットが大きく、また、室内の温度差が小さくなることで、**ヒートショック事故を防止**するなど、身体的にもメリットが大きいことを説明されました。

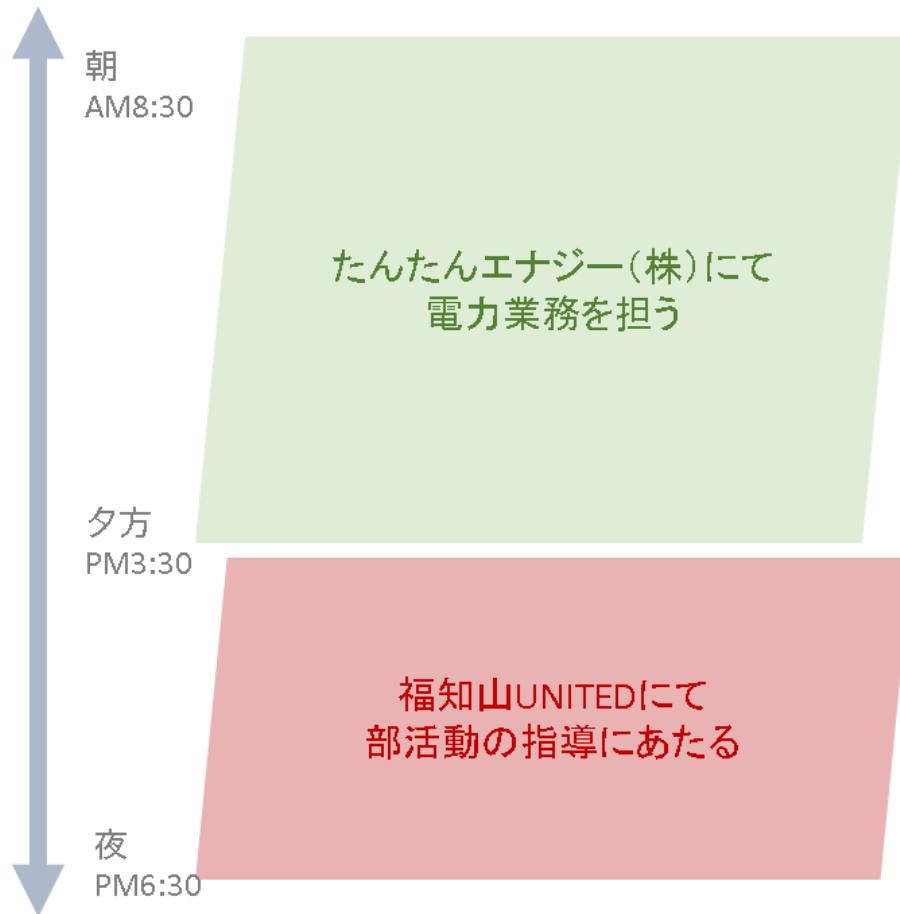
本市としてもZEHの推進は省エネ、健康的な生活につながり、地球温暖化防止にもつながるため、ヨネダ様とともに啓発を行いました。

令和8年1月(予定)には福知山市堀の分譲地にて
ZEH(断熱)性能を肌で感じられる完成見学会を実施予定されています。

『E分科会』交流施設の脱炭素化

交流施設の脱炭素化を中心とした文化・スポーツ・観光の振興

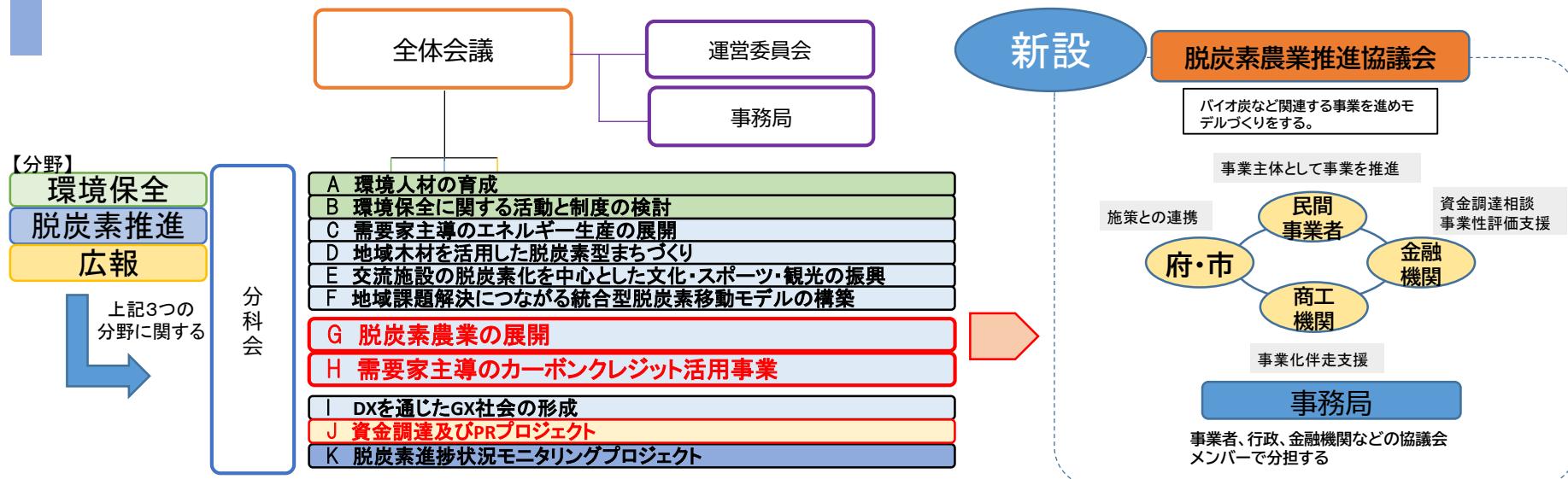
部活動の地域移行の取組を行っている民間スポーツクラブ(福知山ユナイテッド)を、地域新電力会社がサポートする取組がスタートしています。部活動指導者の収入確保のため、昼間は地域新電力会社で働き、夕方からは部活動指導に専念できる環境づくりに取り組んでいます。



福知山ユナイテッド様とオフィシャルパートナー契約増額更新



『G/H分科会』脱炭素農業推進協議会の設立と 森林カーボンクレジットの認証取得準備



バイオ炭活用のモデルづくりのため協議会を組成し、検討を進めています。
循環型森林整備により森林資源をうまく活用し、新たな財源の確保に向け動き出しています。



バイオ炭



現地調査した市保有林の様子

- 市が保有する森林
- 民間事業者2者が保有・管理する森林
→クレジットの創出が見込める森林を調査

- 福知山市分：約440 t-CO₂/年
- 売却益：約230万円/年

※東京証券取引所の取引相場で概算
※手続きに係る手数料は別途必要